

日本労働年鑑 第25集 1953年版  
The Labour Year Book of Japan 1953

第一部 労働者状態

第四編 賃金と労働条件

第一章 賃金

第六節 賃金不払の状況

一九五一年における賃金不払は、件数六二、五五一件、金額、二八、七〇七、二七一、八七七円にのぼり、昨年にくらべて減少するどころか、件数ではかえって四四・一%増、金額では二七・八%増となっている。このことは、一部の産業が特需景気にうるおっている背後に、依然として広汎な不況の進行しつつあることのあらわれであろう。しかし未解決で翌年繰越しになったものの件数は昨年よりもかなり減少しており、件数において六%、金額において三%にすぎない(第九三表参照)。

次に賃金不払の趨勢を第九一表によってみると、取扱件数は一月以降漸次上昇の傾向にあるのは、いわゆる景気の中だるみの影響とみてよいであろう。又当月把握の発生状況によっても、殆ど毎月一〇〇〇件以上の件数を数え、依然として慢性的現象であることを示している。しかも不払件数は中小企業が圧倒的に多い(全不払件数の中、小規模企業だけの発生件数が五二・六%を占める)。

原因別に発生件数をみると(第九〇表)「その他の経営不振」が三八二三件であって、総数の一九・九%を占めるほか、「売掛代金の回収難」三三五一件(一七・四%)「金融難」二八〇四件(一四・六%)であり、その原因の大部分が昨年と同様不況に関連している。

日本労働年鑑 第25集 1953年版

発行 1952年11月15日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

2000年8月10日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1953年版(第25集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)